

## 平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月10日

上場取引所 大

上場会社名 東洋合成工業株式会社

コード番号 4970 URL <http://www.toyogosei.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 木村 有仁

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長

(氏名) 金子 順一

TEL 03-3548-4970

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	3,532	△2.0	152	△42.4	81	△62.1	70	△52.8
24年3月期第1四半期	3,605	△5.8	264	△35.8	216	△36.4	148	△47.2

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 53百万円 (△63.7%) 24年3月期第1四半期 147百万円 (△45.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	8.83	—
24年3月期第1四半期	18.71	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	27,821	6,585	23.7
24年3月期	26,619	6,556	24.6

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 6,585百万円 24年3月期 6,555百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	3.00	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,200	0.5	△70	—	△120	—	△130	—	△16.35
通期	15,000	7.5	120	△81.3	20	△96.2	0	—	0.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。

詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	8,143,390 株	24年3月期	8,143,390 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	190,867 株	24年3月期	190,867 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	7,952,523 株	24年3月期1Q	7,952,599 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の世界経済は、アジア新興国の経済成長を背景に緩やかな景気回復が続いたものの、欧州債務危機による不確実性の高まりや中国における内需の伸び悩み、インドにおける景気拡大の鈍化や物価上昇リスク等により、先行き不透明な状況が続きました。

日本経済は、震災復興需要に伴う企業の生産活動の持ち直しやエコカー補助金等の政策効果に伴う個人消費の回復を背景に、緩やかに回復しつつあるものの、世界経済の不透明感や消費者物価の持続的な下落の影響、東日本大震災以降の厳しい雇用情勢等の影響を受け、依然として厳しい状況が続いております。

当社グループの主要関連業界であるエレクトロニクス業界は、タブレットPC等の市場拡大や新興国向け家電の需要継続に支えられた反面、円高や技術のコモディティー化に伴う新興国企業の台頭により液晶テレビ等が価格下落し、厳しい収益環境が続きました。

また、汎用化学品業界におきましても、厳しい収益環境が続いております。

このような状況の中、当社グループは顧客との関係強化に努め、新規製品の開発や既存製品の拡販に取り組みましたが、当第1四半期連結累計期間の売上高は3,532,999千円（前年同期比△72,209千円、△2.00%）となりました。

損益面では、経費削減や原価低減活動等のコスト対策を継続したものの、売上高の減少及び新工場立上げに向けた人員確保に伴う人件費の増加等により、営業利益は152,475千円（前年同期比△112,289千円、△42.41%）、経常利益は81,973千円（前年同期比△134,113千円、△62.06%）、四半期純利益は70,259千円（前年同期比△78,529千円、△52.78%）となりました。

#### 【感光性材料事業】

半導体用途向け感光性材料は、タブレットPCやスマートフォン等の多機能性携帯端末を始めとした電子機器の需要拡大が継続し、好調に推移いたしました。一方、液晶用途向け感光性材料は、大型液晶パネル価格の伸び悩み及びパネルメーカーの稼働率低下の影響を受け、低調に推移いたしました。このため、前年同期比で売上高は増加しましたが利益は減少しております。

また、電解液・イオン液体については、精力的な需要開拓を進めてまいりました。

以上の結果、同事業の売上高は1,848,096千円（前年同期比+72,989千円、+4.11%）となりました。

#### 【化成品事業】

香料材料部門は、中国・インド等の新興国を中心に需要は引続き堅調に推移しているものの、香料材料の市場価格下落の影響を受け、売上高・利益ともに前年同期比で減少いたしました。

グリーンケミカル部門は、高付加価値品と溶剤リサイクルを中心に市場開拓を進め、主に電子材料用途向け需要の取り込みを拡大したため、前年同期比で売上高・利益ともに増加いたしました。

ロジスティック部門は、荷動きの低下に伴い前年同期比で売上高は減少いたしました。顧客満足度の維持・向上に努めた結果、タンク契約率を高水準に維持したため、利益は前年同期と同一水準を確保しました。

以上の結果、同事業の売上高は1,684,903千円（前年同期比△145,199千円、△7.93%）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は27,821,387千円となり、前連結会計年度末に比べて1,201,497千円の増加となりました。

流動資産は9,721,988千円で、前連結会計年度末に比べて238,592千円の減少となりました。これは主に商品及び製品183,390千円の減少と流動資産その他に含まれております未収消費税43,577千円の減少によるものであります。

固定資産は18,099,399千円で、前連結会計年度末に比べて1,440,090千円の増加となりました。これは主に建設仮勘定1,090,588千円の増加と建物及び構築物461,777千円の増加によるものであります。

流動負債は13,455,329千円で、前連結会計年度末に比べて809,829千円の増加となりました。これは主に流動負債その他に含まれております設備未払金673,542千円の増加と短期借入金308,200千円の増加によるものであります。

固定負債は7,780,497千円で、前連結会計年度末に比べて362,178千円の増加となりました。これは主に長期借入金390,357千円の増加によるものであります。

純資産合計は6,585,560千円で、前連結会計年度末に比べて29,488千円の増加となりました。これは主に利益剰余金46,402千円の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年5月10日発表「平成24年3月期 決算短信」における第2四半期累計期間および通期の業績予想の数値に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（有形固定資産の減価償却方法の変更）

当社及び連結子会社は、リース資産以外の有形固定資産の減価償却の方法については、従来、定率法（ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備は除く）については定額法）を採用しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より定額法に変更しております。

この変更は、化成品事業における需要動向及び生産状況などの事業環境の変化や、感光性材料事業における技術革新の状況を背景に、生産能力増強に向けた投資へシフトすることから、大型設備投資である香料工場及び淡路工場の建設を契機として、減価償却方法の見直しを行った結果であります。

生産される製品については今後安定的な需要が見込まれており、主要製造設備は将来の耐用年数にわたって安定的な稼働が見込まれていること、また技術的な陳腐化のリスクも少ないことから、每期一定の維持更新投資を行うことにより投資の効果が平均的に生じると考えられるため、より適切な費用配分を行うため定額法が合理的であると判断したことによるものであります。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べ、当第1四半期連結累計期間の減価償却費は108,406千円減少し、売上総利益は58,461千円、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ65,504千円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,808,927	1,770,687
受取手形及び売掛金	2,574,338	2,568,493
商品及び製品	4,228,638	4,045,247
仕掛品	126,826	148,519
原材料及び貯蔵品	823,527	876,522
その他	400,947	315,111
貸倒引当金	△2,624	△2,593
流動資産合計	9,960,581	9,721,988
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,609,989	6,071,767
機械装置及び運搬具（純額）	2,330,471	2,249,794
土地	4,934,536	4,934,536
建設仮勘定	2,461,470	3,552,059
その他（純額）	361,385	369,387
有形固定資産合計	15,697,853	17,177,544
無形固定資産		
のれん	18,851	18,077
その他	388,415	368,423
無形固定資産合計	407,266	386,501
投資その他の資産		
その他	568,815	546,134
貸倒引当金	△14,626	△10,781
投資その他の資産合計	554,189	535,353
固定資産合計	16,659,309	18,099,399
資産合計	26,619,890	27,821,387

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,931,646	1,932,834
短期借入金	7,423,322	7,731,522
未払法人税等	33,816	18,553
賞与引当金	240,063	106,679
災害損失引当金	45,601	871
その他の引当金	20,000	—
その他	2,951,050	3,664,869
流動負債合計	12,645,499	13,455,329
固定負債		
長期借入金	5,884,986	6,275,343
退職給付引当金	927,711	948,966
その他の引当金	107,381	102,732
その他	498,239	453,455
固定負債合計	7,418,319	7,780,497
負債合計	20,063,818	21,235,827
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,618,888	1,618,888
資本剰余金	1,541,589	1,541,589
利益剰余金	3,488,704	3,535,107
自己株式	△83,200	△83,200
株主資本合計	6,565,982	6,612,384
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△10,007	△26,824
その他の包括利益累計額合計	△10,007	△26,824
少数株主持分	96	—
純資産合計	6,556,071	6,585,560
負債純資産合計	26,619,890	27,821,387

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	3,605,208	3,532,999
売上原価	2,707,333	2,805,593
売上総利益	897,875	727,405
販売費及び一般管理費	633,110	574,930
営業利益	264,764	152,475
営業外収益		
受取利息	13	11
受取配当金	3,014	2,233
生命保険配当金	5,080	5,638
その他	7,961	7,079
営業外収益合計	16,070	14,962
営業外費用		
支払利息	34,533	44,597
為替差損	28,355	36,159
その他	1,859	4,707
営業外費用合計	64,749	85,464
経常利益	216,086	81,973
特別損失		
固定資産除却損	2,329	9,933
特別損失合計	2,329	9,933
税金等調整前四半期純利益	213,756	72,040
法人税、住民税及び事業税	2,246	2,619
法人税等調整額	62,900	△742
法人税等合計	65,146	1,877
少数株主損益調整前四半期純利益	148,610	70,162
少数株主損失(△)	△179	△96
四半期純利益	148,789	70,259

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	148,610	70,162
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,518	△16,816
その他の包括利益合計	△1,518	△16,816
四半期包括利益	147,092	53,346
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	147,271	53,443
少数株主に係る四半期包括利益	△179	△96

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	感光性材料事業	化成品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,775,106	1,830,102	3,605,208	—	3,605,208
セグメント間の内部売上高又は振替高	233	174,374	174,608	△174,608	—
計	1,775,340	2,004,476	3,779,817	△174,608	3,605,208
セグメント利益	70,139	194,625	264,764	—	264,764

(注) セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	感光性材料事業	化成品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,848,096	1,684,903	3,532,999	—	3,532,999
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	188,604	188,604	△188,604	—
計	1,848,096	1,873,507	3,721,604	△188,604	3,532,999
セグメント利益又は損失(△)	△8,732	161,208	152,475	—	152,475

(注) セグメント利益又は損失は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な事項はありません。